

米価下がりに年金削られ
買う物みな高くなり
さらに消費税8%とは
どうやって暮らしていけばいいのか

安倍政権は3年間、国政選挙がないことから暴走を始めています。



日本共産党の躍進で、政治を変えよう。加藤こういち候補は市民のくらしを守るため全力です。

市議選 増税中止の市民の声 共産党の勝利でハッキリ示そう

モデルケース：下記世帯

	年齢	所得額	固定資産税額
主	42歳	200万円	8万円
妻	39歳	35万円	0円
母	70歳	50万円	3万円
子	10歳	0円	0円

平成25年度国民健康保険税
モデルケースによる試算額

順位	市町村名	国保税額	所得285万円4人世帯で40万円の国保税
1	上山市	480,000	2ヶ月分の生活費が消える
2	河北町	477,200	
3	南陽市	464,900	
4	尾花沢市	460,300	
5	川西町	454,900	
6	天童市	452,100	
7	寒河江市	448,800	
8	東根市	444,900	
9	山形市	441,500	
10	舟形町	439,900	
11	高島町	439,200	
12	新庄市	436,800	
13	山辺町	432,100	
14	長井市	424,600	
15	酒田市	417,100	
16	村山市	413,100	
17	米沢市	409,500	
18	大石田町	409,400	
19	白鷹町	408,400	
20	最上町	405,200	
21	鶴岡市	403,600	
22	大蔵村	398,700	
23	中山町	391,100	
24	大江町	387,800	
25	小国町	385,900	
26	庄内町	385,400	
27	遊佐町	384,600	
28	最上連合	371,400	
29	三川町	365,800	
30	朝日町	350,700	
31	飯豊町	343,400	
32	西川町	314,500	

資料：鶴岡市国保年金課から作成

加藤こういち候補 最後まで押し上げ

国保税を引き下げよう 2ヵ月分の生活費が税金で消える

鶴岡市の平成25年度 国民健康保険税は、モ

(高橋さつき子衆院議員が来援)

デルケース世帯(所得285万円・4人世帯・固定資産税11万円)の場合、40万3600円で、2ヵ月分の生活費が国保税で消えます。

鶴岡市は13市で最も 県内で21位

県内市町村の比較では、1位が上山市で48万円、最低が西川町で31万4500円で、その差は1.5倍、差額は16万5500円です。

鶴岡市は13市のうち最小、32保険者では21番目で最大の差額は7万6400円、最低位との差額は8万9100円です。

党市議団 減税求め

日本共産党市議団は議案提案権を使い、平成22(2010)年6月議会に国保税1人1万円の減税条例を提案するなど、粘り強く減税を求めてきました。

そのため市では国保加入者の医療費が毎年1人平均約1万円づつ増大する中でも、増税を押さえてきました。

しかし、共産党市議

団を除く与党派の賛成で、平成25年度に1人平均1万580円、14・3%の国保税引き上げをおこないました。

市では増税幅を抑えるために、一般会計からの繰入金を増額(7500万円)するなど党市議団の要求に一定程度応えています。それでも所得額(基礎控除前)285万円に40万円もの税負担は重く、2ヵ月分の生活費が国保税で消えます。

国保の都道府県化

政府は、国保の都道府県への移行について平成27年通常国会に法案を出すとしています。

その前段として27年4月から全ての医療費を県単位の財政運営する計画で、比較的低い鶴岡市への増税圧力が強まるのは確実です。

国保税引き下げのためには、国保への国庫補助金の増額と、市の一般会計繰入れを増やすことが必要です。

市議選で加藤こういち候補は、国保税引き下げを第1に掲げ奮闘しています。

消費税8%増税、ウソつき安倍首相 ―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

安倍首相は、10月1日、来年4月1日から消費税8%にと発表。消費税は1989年4月1日3%に始まり97年4月1日5%に。財政再建や福祉充実が名目なので、「やむをえない」と思った国民も少なくなかったが、今もそう思っている人々がいるようだ。 荘内日報も「少子高齢化で将来のために増税は仕方ないと思う半面…」と主婦の談話を紹介している。はたしてそうだろうか。

税制には応能負担という原則がある。所得に応じて税を負担するということである。財源は利益を内部留保に抱え込む大企業に負担させるのが税の民主主義である。

志位委員長は、所得が減っている国民からは8兆円奪い、270兆円の巨額の内部留保を抱える大企業に減税。

所得税復興増税は37年までの25年間、なのに法人税復興増税はわずか3年、それさえ1年前倒して中止するという、こんな道理ない話はあるかと怒る。

さらに、しんぶん赤旗日曜版6日号は、「大企業優遇で賃金増えない」として、法人税を減税しても賃金が減った事実を示している。1997年法人税率37

・5%、平均年間賃金は446万円、2012年法人税率は28・05%に下がったが平均年間賃金も377万円と下がって上がっていないのだ。

税制には応能負担という原則がある。所得に応じて税を負担するということである。財源は利益を内部留保に抱え込む大企業に負担させるのが税の民主主義である。



山のあなた

カアル・ブッセ

山のあなたの空遠く

「幸(さいはひ)住むと人のいふ。」

上田敏・海潮音の名

詩名訳です。

幸いは住むことではありません。正直や勇氣などの形のないものは住めません。住めるのは人、または鬼のような人に類するものです。日本語文法の大沼の法



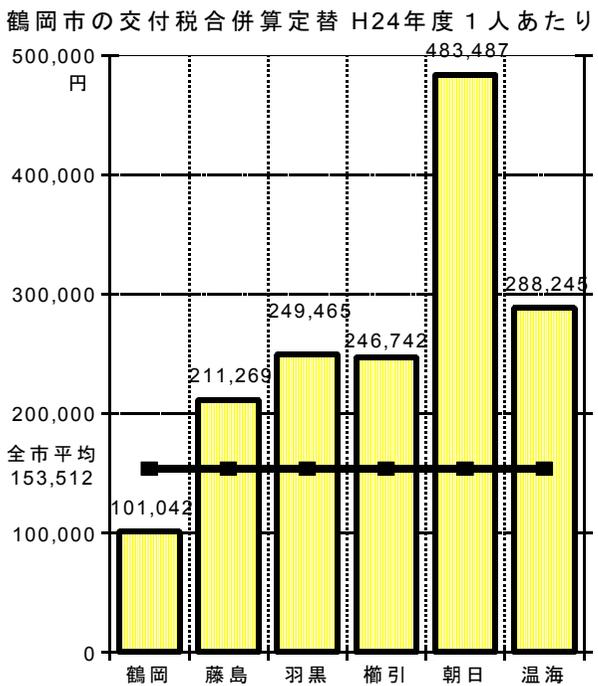
則では、野生動物は住めませんが、家畜化されたものは住めません。ネコは、ノラは住めませんがタマは住めません。人のいふの「人の」は余分です。ことばは節約が大切なので、余分は切り捨てられます。住むというので十分です。日常このような人を聞いたたり読んだりすることはありません。「山のあなた」の幸住むや人のいふは、原詩の直訳と思われます。伝統的な日本語のきまりを打ち破って、大胆に外国語の言葉遣いを取り入れています。これが生新の気となつて名訳詩を支えています。



マスコミの報道ではいつのまにやら消費税引き上げに賛成者が多数になつている。本当だろうか。また、景気が2%以上良くならなければと、デフレが克服できないければ消費税は上げないという約束だったが、引き上げを煽ってきたマスコミはそこは検証したのだろうか。国民は景気が良くなつたかどうかは誰も思っていないだろう。

▼もう一つは首相の発表を受けて、法律で決まったのだから文句を言うなミタイな論調があるが、3党合意の法律を首相が実施すると発表したただけなのだ。細部は決まっていなしいやなものはいやだ。選挙時に第3極という

合併算定替えを旧市町村ごとと比較 鶴岡地域は5割増



合併算定替えは旧市町村単位に算定した普通交付税の合算額を10カ年保障され、その後5年間で段階的に縮減されます。24年度の合併算定替は市全体で1人当たり15万3512円です。鶴岡地域の場合、旧市町村単位の10万1042円と比べ5割増しとなり、市当局は合併前は1人10万円の交付税で自治体を運営していたのが、合併後は15万円のできるようになる。

つたということ。その分、市民サービス向上を図るべきです。旧町村では逆に大きく減り、鶴岡地域並みの水準に独自サービスのカットや負担増が押しつけられました。その結果、貯め込み(基金)は合併時の50億円から100億円に倍加しました。平成33年度の一本算定になれば、1人当たり交付税は12万4114円に減少します。

ことで持ち上げたように国民を悪く誘導しているように思えてならないのだ。

▼10月1日は物価値上げの出発日だった。牛乳をはじめ食料品の多くが値上がりした。ガソリンは勿論だから冬場の灯油はどうなるのだろうか。一方、年金引き下げの通知が来はじめたから、国民のくらしは大変なことになる。

▼消費税は引き上げて大企業の分はマケルなんてトンデモナイやり方だ。5兆円も景気対策で使うのなら始めからやらなければいいのだ。その中に低所得者向けの1万円も入っている。1万円をくれるのにナンボ金がかかるんだ。デタラメな政治だぜ。アメリカから批判されはじめた。▼税金マケタ分働く者の給料が上がるダト。そんなことおこりえるはずがない。行く末に希望の灯が見えて心が広がる政策でないから、世の中暗くなり景気も良くなりません。(石川)